

政策協定書

第四十六回衆議院議員総選挙において、船橋利実候補と、北海道医師連盟委員長長瀬清は次の内容について政策協定を締結する。

記

船橋利実候補は、左記の政策協定事項を鋭意実現するものとする。また、北海道医師連盟は、船橋利実候補者の当選に向けて一致団結して取り組むものとする。

政策協定事項

- 一、経済格差に関係なく国民すべてが等しく、いつでも、どこでも、誰もが安心して医療を受けられる国民皆保険制度を堅持するために努力すること
- 一、医療に市場原理主義を導入し、医療サービス市場を外国企業に開放する等を目論むTPP加盟阻止のために努力すること
- 一、社会保障としての高齢者医療制度の確立とその安定的な財源の確保のために努力すること
- 一、社会保険診療報酬等に対する消費税制度を仕入税額控除が可能な課税制度に改め、かつ患者負担を増やさない制度に改善するために努力すること

なお、本協定書は二通作成し、船橋利実候補と、北海道医師連盟委員長長瀬清が署名捺印の上、それぞれ一通ずつ保管する。

平成二十四年十二月六日

自由民主党公認候補者

北海道医師連盟委員長

船橋利実



長瀬

清

印

